

令和4年度 市民と市長の対話集会

市長と語ろう！ほっとミーティング

開催結果報告書

- 1 開催日時 令和4年（2022年）6月2日（木）
午前10時から正午まで
- 2 開催場所 市役所本館302会議室
- 3 参加者 平塚市自治会連絡協議会 南ブロック
連合自治会長5人、代理出席1人
- 4 テーマ ポストコロナにおける地域活動について

5 市長あいさつ

お忙しいところ御参加いただきありがとうございます。平自連の皆様とは令和2年度にもお集まりいただき、新型コロナが地域に及ぼしている影響など率直な御意見をいただき、令和3年度と今年度の予算編成に当たり参考にさせていただきました。

新型コロナの発生状況は、オミクロン株のまん延による第6波のピークとなった今年2月には月3,500人ほどでしたが、以降は減少傾向が続き、5月は約1,200人となりました。新型コロナワクチンの3回目接種は対象人口の65%以上、65歳以上では約90%の方に接種を済ませていただきましたので、まだまだ油断はできませんが、徐々にコロナとの付き合い方も変わっていくと考えています。そこで地域活動についても再開に向けた動きを進めていただけますと大変ありがたいと考えています。今年度の予算編成に当たっては、活動再開に向けた取り組みを応援できるよう指示し、活動再開円滑化交付金などを予算化しました。本日は、市としてどのように地域づくりに協力させていただくことができるかなど、率直な御意見をいただけますと大変ありがたいです。本日はどうぞよろしく申し上げます。

6 主なミーティングの内容

【司会】

まず初めに自己紹介も兼ねて各地域の現状などをお聞かせください。

【参加者】

私の地域では可燃ごみの戸別収集が拡大され、住民から大変好評です。早期に全地区に拡大していただきたいです。

【参加者】

行事の開催を検討していますが市のガイドラインでは制限が多く、何もできないという意見があります。また可燃ごみの戸別収集への期待も大きいです。

【参加者】

ひらしん平塚文化芸術ホールの開館により活気が出てきました。しかし商店街などは2年に及ぶコロナによる影響で疲弊しています。また若い人も失業・時短で収入が減り、生活が困窮している世帯もあると聞きます。自治会では限界がありますので、市の支援が必要だと思っています。

【参加者】

会長の代理で参加しています。連合会内の単位自治会長を務めています。地域の力を活用して、公園の植栽の手入れを行うなど活動しています。

【参加者】

当地区内で計画されている公園整備事業について、自治会としては関わり方が難しい問題です。市には住民が納得できるよう丁寧な説明をお願いしたいと思っています。地域行事については、分割、時短など工夫しながら開催する方向で検討しています。

【参加者】

この2年間、防災訓練だけは行っていました。今年度は例年通りに計画しています。3年間行事を開催しないと、経験した人がいなくなってしまうことを心配しています。大きな課題として役員のなり手不足が深刻です。平自連だけで解決することは難しい課題ですので、市にも協力してほしいと思っています。

【司会】

まず、ごみの課題について意見交換をしていきたいと思います。一部地域で可燃ごみの戸別収集が始まりました。導入前後での変化などについて教えてください。

【参加者】

まずカラスの被害が改善されたと思いますし、分別や減量化に対する住民の意識が向上したと考えています。一方で資源再生物の集積場の乱れが目立つようになってしまいました。

【参加者】

当地区は未導入のため、うらやましく感じています。資源再生物については回収コンテナが不足しています。特に空き缶のコンテナが足りていないので、対応をお願いします。

【参加者】

当地区は可燃ごみの戸別収集は未導入ですが、収集業務が市直営から民間業者へ変更されました。直営の頃は午前中に収集してくれていましたが、民間委託後は夕方に収集される集積場も多くなり、カラスに荒らされる被害が多発しています。荒らされる度に掃除するため、役員の負担は大きいです。以前のように午前中には回収し終えるようお願いしたいです。

【参加者】

当地区も民間委託が始まり、回収時間が遅くなりました。8時半までに排出するよう周知するのであれば、午前中に回収してもらいたいです。

またごみに関連して、減量化を進めるために、指定ごみ袋の有料化に踏み切る自治体も増えてきていると聞きます。脱炭素社会の実現に向けて検討すべき取組だと思います。

最後に、自治会回覧を利用して住民に配布しているごみ収集日カレンダーに

ついて、広報ひらつかなどに折り込めないかと相談しましたが、地区ごとに12種類ほどあるようで、難しいと断られてしまいました。より効果的な配布方法も検討してもらいたいと思います。

【参加者】

ごみは永遠の課題だと思いますが、市職員は大変良くやってくれていて感謝の気持ちが大きいです。無関心の住民が一定数いることに問題があり、先日の市が行ったアンケート調査の結果からも同様の課題が浮き彫りになりました。当地区では、時間がある時に集積場を見回るように各役員にお願いしています。また減量化への意識付けが必要です。先日のまちぐるみ大清掃に市職員がボランティアで参加してくれました。彼のような意識の高い職員は立派だと思います。

【市長】

可燃ごみの戸別収集については、高齢化などを背景に一年半の社会実験を経て、一部地域で本格導入しました。導入に当たっては、人員と車両の確保が必要であるため、民間委託も併せて導入しています。今後は段階的に拡大し、ゆくゆくは市全体に拡大したいと考えています。民間委託を始めて、収集時間が遅くなっているとの御指摘については、真摯に受け止め、担当課に改善を指示したいと思います。民間委託は民間が持つノウハウを生かし、サービスを充実させることが本来の目的ですので、改善策をお伝えできるようにしたいと思います。また不法投棄についても、自治会の御協力に感謝します。市としても警察と協力してパトロールを行うなど取り組んでおり、年10件程度不法投棄者の特定に繋げることができました。今後も何かありましたら、担当課に御連絡いただきたいと思います。コンテナの不足についても、必要数を確保するよう伝えたいと思います。

減量化の状況ですが、市民の皆様の御協力により年々着実に進んでいます。廃棄物対策審議会において、ごみ有料化の議論をさせていただいていますが、他市町での先行事例を調査・研究している段階で、現状では有料化を導入する予定はありません。ごみ収集日カレンダーの配布についても御協力をいただきありがとうございます。市民の皆様へのより効果的な周知方法等の研究が必要だと感じています。

市職員が地域の一員としての意識を持ち、地域活動に積極的に参加することはとても重要だと思っています。私からも働きかけたいと思っています。

【司会】

次に地域行事の再開について、意見交換を進めていきたいと思っています。

【参加者】

今年度の年間計画は、コロナ前と変わらない計画をしています。今後の感染

状況次第ですが、元に戻したいと考えています。他の活動団体と調整が必要となり、団体によって温度差も大きいため課題もあります。また市の各部から発出される開催ガイドラインにも差があり、混乱が生じています。早急に統一してほしいと思っています。

【参加者】

地区レクのガイドラインを確認しましたが、10月開催までまだ時間があるのに随分と制限が厳しい印象を受けました。すでに2年中止にしており、役員の負担も大きいので、資材レンタルも活用しながら開催したいと考えています。

【参加者】

盆踊りは開催することを決定し、その他のイベントはその都度適切な時期に判断することとしています。

【参加者】

自治会活動のボランティア不足が深刻です。先日の市のアンケートでも若い世代の関心が低いとの意見が多かったと思います。その原因はコロナによって地域行事ができておらず、自治会活動を十分にPRができていないためと感じています。当然自治会でも住民へPRしますが、市としても広報ひらつかなどで積極的にPRしていただきたいです。当地区でも積極的に単位自治会長や体育部長を引き受けてくれる市職員がいて、大変助かっています。地域に住んでいる職員の情報を提供してもらうことは、個人情報の問題でできないと思いますが、市長から市職員へ少しの時間でもいいので試しに参加してみるよう働きかけをお願いしたいです。市職員と自治会が協力して活動することが成功へつながると考えています。

【参加者】

地区レクについては6月に第1回の準備会を予定しています。ガイドラインをみると、「時間は午前のみ、競技は少なく、食事はだめ」と制限が多く、弁当を食べながらの懇親が大きな楽しみの一つであるため、弁当なしで参加者に楽しんでもらえるか心配です。

【参加者】

確かに市からのガイドラインは制限が厳しいと感じました。例えば「食事は飲食スペースを設けて各自で」となっているが、1,000人近くが参加するイベントでそのようなスペースを設けることは不可能であり、そもそも作成者が現場を知らないのではないかと感じています。現場を見ずに自治会のイベントを制限されることは迷惑です。ガイドライン策定に当たっては自治会との意見交換の場を設けるなど、現場の意見を汲み取ってほしいです。弁当なしの地区レクは考えられないと思います。

【参加者】

当地区も全てコロナ前に戻す予定です。もちろんガイドラインは参考にさせてもらいますが、七夕まつりでの制限も一つの指針になると思っています。七夕まつりでは、飲食だけでなく、物販の露店もなしになったと聞きました。地区レクでは飲食も物販もやりたいと考えていますが、市主催行事が保守的すぎると自治会が積極的にやりにくい面はあります。先日の平自連の会合では、参加が少なかったとしても、開催のためのノウハウを引き継ぐためにも開催すべきとの意見もあり、盆踊りは多くの地域で開催方針と聞いています。もう一つの課題として、子どもの参加が少ないことです。まだ保護者の中に心配する考えも大きいと理解しています。例年200人が参加してくれたお祭りも今年は40人ほどの予定です。2年間行事を行っていなかったわけですから、参加人数を元に戻すには時間がかかります。今年は技能継承のためにも開催できるだけ良いと考えています。

【参加者】

市がより安全に、よりリスクを少なくという気持ちは分かります。3月の公民館まつりでは制限がありましたが、皆で感染対策に知恵を絞って、まだ寒い時期でしたが、窓を全開にするなど対策を徹底して開催しました。その結果、地域住民にも楽しんでもらい開催して良かったと考えています。繰り返しになりますが、制限をかける際には、自治会の考えも聞いてほしいです。

【市長】

地域活動を再開するために取り組んでいただき、ありがとうございます。ガイドラインについては、再開させることを前提として主催者に考えていただきたい内容としてお示ししました。どうしても「アルコール禁止・手指消毒の徹底」など、制限やお願いが多くなってしまふ点についてはお許しいただきたいと思います。

地域活動を元に戻すために、まずどこからどのように動き始めていくべきか悩まれることも多いと思いますので、市がどのように応援していくかは、各活動団体を支援する各部長に検討を指示したいと思います。本市職員は仕事をしっかりやってくれますが、確かに慎重なことが多いかもしれません。今年の市主催行事は開催する方針です。七夕まつりも開催します。露店については、当初飲食の露店のみ制限する考えでしたが、露店商組合から物販だけでの出店では難しく、露店商全体で辞退する意向があったことから、今年は露店はなしとなりました。中心街での七夕飾りを鑑賞していただくことを中心とした祭りになりますが、多くのお客さんは飲食店等を利用していただくこととなりますので、平塚の魅力的なお店を知っていただく大きなチャンスにもなると考えています。現在、実行委員会で市内の飲食店を紹介するウェブページを作ってもら

うなど、ポストコロナの新しい七夕まつりを模索しているところです。その他、パレードや地区別の七夕飾りコンクールも開催します。ぜひ御協力をお願いします。七夕まつりの開催を決断した大きな要因の一つが、先ほどからお話にもありました技能継承です。中心商店街に掲出する七夕飾りの製作には、特別な技能が必要になりますが、もし3年間製作しなければ技能継承が行われず、再開することができなくなってしまうと危惧していたからです。同様に8月末の花火大会も開催することを決定しました。露店の有無、棧敷席のあり方については現在検討中です。市主催のイベントではありませんが、よさこいまつりは時期をずらして開催する意向と伺っています。また中心市街地において3月末にひらしん平塚文化芸術ホールが開館しました。にぎわい創出の核として、様々なイベントに活用していただけるよう支援していきたいと考えています。

【参加者】

七夕まつりでは露店での飲食ではなく、飲食店の利用をお願いすることは商店街活性化の良いチャンスになると思います。10月の囲碁まつりでは露店がないため参加者の多くは飲食店を利用していました。参加者に「おすすめのお店を教えてください。」とお願いされることもありました。

【司会】

青年会議所が七夕まつりでの協力スタッフを中高生に募集したところ、定員を上回る応募があったと聞きました。若者の七夕まつりやイベントへの期待は大きいと感じました。次に、これまで地域活動への参加が難しい方への促進策などについて意見交換をしていきたいと思っています。

【参加者】

当地区では活動のデジタル化を進めています。若い世代は仕事や子育てで忙しく、ウェブ会議などを活用して参加してもらっています。機材やネットワーク環境の整備には、市の支援が不可欠ですので、引き続きよろしく願います。

【司会】

自治会費の徴収にキャッシュレスを導入して、負担軽減を図っている事例があると聞きました。

【参加者】

私自身、デジタル化には全く対応できていないのですが、世代交代の強硬策の一つとして、12年務めている会長職を今期で退任すると宣言して、後任が出て来ざるを得ない状況を作っています。

【参加者】

当地区では役員のグループLINEを組んで、情報共有を図っていますが、スマホをもっていない方もいます。今年は民生委員の改選時期に当たり、自治

会が推薦する立場ですが、一人見つけるだけでも大変です。

【参加者】

当地区でもデジタル化は徐々に進んでいます。事務連絡はデジタルで済ませるようにしていますが、顔を合わせる会合も大事にしたいと思っています。

【参加者】

当地区も役員同士顔を合わせることを重要視していますが、事務連絡や回覧などではデジタルを活用しています。また、高齢者の地域活動への参加について、お元気で積極的に参加する方もいれば、外出することが難しい独居の方も多くいます。当地区では地域包括支援センターを中心に、福祉ネットワークを組織して支援していますが、自治会としてどこまで支援できるか難しい問題です。市でも要援護者支援制度がありますが、支援者が見つからず、要支援者自身が探すと遠方の親戚しか登録されず現実的な支援制度にならないと感じています。私は中学生など若い人と話す機会があると、近所にどんなお年寄りが住んでいるか少しでも関心を持ってもらい、いざという時に支援してもらえたらうれしいと伝えています。自治会費や年4回の募金などでも、キャッシュレスや一括集金は効率的で良いのですが、年4回ほど顔を見せ合う関係も大事ではないかと感じます。

【参加者】

私もデジタルは疎いのですか、当地区でもようやく「ちいき情報局」を開設しました。しかし各単位自治会との連絡・報告は紙や電話で行っています。

民生委員の推薦の苦労は同様です。新任探しどころか、現委員から退任意向が多く慰留するだけでも大変です。今月に第1回の準備会を開きますが、前途は多難です。藤沢市では市が人探しをしていると聞きました。自治会の負担軽減をお願いしたいです。

【司会】

民生委員に関しては、なり手が少ないので一人当たりの負担が大きいという課題は全国的にあると聞きます。

【参加者】

当地区では、昨年からは準備を進めていましたので、すでに目途はついているのですが、もちろん苦労は多かったです。また4、5期と長く務めている方が多くなっていることも次回以降の課題と捉えています。

【参加者】

当地区でも現職10人中5人が退任意向です。欠員が生じている地区もあると聞きますので、全国的な課題だと思っています。

【参加者】

私も自治会活動に30年以上関わってきましたが、民生委員だけでなく、自

治会などの役員を引き受けてくれる人が減ってきたと感じています。これは、自治会にどんな役割があり、役員がどんな仕事をしているか知らないことが原因ではないかと考えています。そこで市でも広報ひらつかなどで積極的にPRしてもらいたいです。広報ひらつかで自治会特集が生まれ、当地区の活動などを取り上げてもらいましたので、定期的に発信してほしいと思います。また若い人が自宅や職場からでも参加しやすいようにデジタル化を進める必要があると思います。一方で、高齢者でデジタルが苦手な方向けのパソコン教室を開催するなど支援が必要だと思います。

【市長】

様々な御苦勞の中で地域を支えていただいていますことに対して、改めて御礼申し上げます。先ほど御案内のありました市とNPO法人とのアンケートの結果を見ますと、「役員のなり手がいない、若い世代が入ってこない、高齢化が進んでいる」などの課題が改めて浮き彫りになりました。この課題解決についてはしっかりと取り組んでいかなければならないと考えています。前回のほっとミーティングのときにも、このままでは自治会不要論が出てしまうと御意見もいただきましたので、昨年1月と今年3月には広報ひらつかで自治会の役割や意義、活動事例の紹介などの特集を組みました。今後も定期的に自治会活動を取り上げるように担当課に指示していますが、いよいよ地域活動が動き始める時期になってきましたので、効果的なタイミングでPRを行うよう改めて指示したいと思います。

デジタル化については、様々な場面で積極的に進めるよう指示しています。例えばスターライトポイントではキャッシュレス決済を推進し、合計約25億円を御利用いただきました。不慣れな方へのサポート体制をしっかりと整えることで高齢の方にも御利用いただいています。デジタル化は若い世代を呼び込むためにも、事務負担を軽減させるためにも有効な手段だと思います。また、ちいき情報局を全地区で開設していただきました。ぜひ活用していただき、各地域にお住まいの若い方へ魅力的な地域活動情報を発信いただきたいと思います。市としても引き続きパソコン・スマホ教室など開催して、自治会活動を応援していきたいと考えています。

【参加者】

当地区でもちいき情報局は積極的に活用しています。特に小・中学校からの情報を掲載してもらえると、保護者たちが見てくれるので若い世代のアクセスが増えます。一つの課題は、様々な団体から同じ情報が掲載され、重複が多くなっていることです。これから改善していきたいと考えています。

【市長】

全地域で開設されたことで、全市共通の情報と、各地域の情報の掲載ルール

は必要になってくると思いますので、担当課に検討するよう伝えたいと思います。

【参加者】

当地区もちいき情報局は徹底的に利用しています。各イベントは動画で撮影し、5分程度に編集して掲載しています。保護者だけでなく子どもたちもスマホの扱いに慣れており、掲載すると良く見てくれています。

【司会】

時間も少なくなってきましたが、その他市長にお伝えしたいことなどありますか。

【参加者】

当地区には東海道線の線路を渡る地下道は何か所かありますが、集中豪雨での冠水時には通行止めになりますので、1か所は陸橋があっても良いのではとの意見があります。

【参加者】

役員のなり手不足では女性の登用を検討した方がいいと思います。男性に役員をお願いすると「妻が反対しているの」と断られることが多いです。女性に積極的に参加してもらおうとありがたいですし、「私は無理なので夫にやってもらいます」となれば、それはそれでありありがたいと思います。

【参加者】

当地区での大型商業施設が計画されていますが、災害時に避難場所や駐車場利用について、市からお願いしてほしいと思います。今年の豪雨では、水没を避けようと避難場所へマイカーで来る人が多く、すぐに駐車スペースが満車になってしまいました。現計画では夜間は駐車場を施錠するようですが、非常時には開放してほしいと思っています。

【市長】

地下道については、どのように計画しているか地域へ説明するようにお伝えします。商業施設の開発計画については、開発事業者との協議の中で、様々なお願いをしてきていますので、地域からの御意見としてお伝えしたいと思います。ただ非常時の手段として自動車での移動は危険とされています。どのような避難が良いかは防災訓練等で啓発したいと思います。昨年7月の集中豪雨では、金目川水系で危険が迫ったため、全国で初めて最大警戒レベルとなる緊急安全確保を発令しました。結果としては大きな被害もなく収まったため、住民の方からお叱りを受けるかと思いましたが、よく躊躇せず発令したとお褒めの言葉をいただきました。車を大事にされる気持ちも分かりますが、人命は何物にも代えられませんので、最も安全な避難手段をとっていただきたいと思います。

【参加者】

当地域でもいよいよ動き出したいと考えている中で、市主催行事が後ろ向きだと、地域が引っ張られてしまいますので、市には積極姿勢で良き見本となるように取り組んでいただきたいと思います。

7 市長によるまとめ

本日は様々な御意見と御要望、地域が抱える課題の提起をいただきありがとうございました。いただいた御意見等は各担当課にしっかり伝え、きちんと対応するように指示したいと思っています。

平塚というまちは、地域に住む方がその土地を愛し、人と人々が支えあい、つながり、魅力的な特色をもって形成された地域の集合体であると考えています。

これからそれぞれの地域活動を再開していただくことが、元気な平塚を取り戻すことにつながっていくと思います。そのためには各地域が動きやすく、持続可能な動きがとれるよう市としてしっかりと応援していかなければならないと考えています。

各自治会長におかれましては、引き続き多大なる御尽力を賜りますようお願いいたします。本日はありがとうございました。

以 上